

「泣いた赤鬼」

無料テスト対策練習問題プリント①

年	組	番	名前
---	---	---	----

【1】 「泣いた赤鬼」の だい1の ばめんを よんで
もんだいに こたえましょう。

問1 山のがけのところに一けんたっていた家にすんでいたのは
だれですか。お話の中からぬき出して6もじで こたえま
しょう。

問2 赤おには どんな すがたを していますか。お話の中の
ことばを つかって、2つ 赤おにの すがたの とくちょうを
こたえましょう。



問3 赤おには ほかのおにと どんなところが ちがっているの
ですか。お話の中の ことばを つかって、2つ こたえま
しょう。

問4 赤おには どんなことを いつも ねがっていますか。つぎ
の中から あてはまらないものを えらび○でかこみましょ
う。

あ：にんげんと いっしょに すみたい

い：にんげんの ために はたらきたい

う：にんげんと なかよくしたい

え：にんげんの なかまに になりたい

問5 赤おにが 家の前に ふだを立てたのは なぜですか。
つぎの中から いちばん ただしいものを えらび ○で
かこみましよう。

あ：おいしい おかしを たべてほしいから

い：にんげんが 赤おにの家の ばしょを しらないと
おもったから

う：じぶんは やさしいおにだから こわくないと
つたえたかったから

え：にんげんと はなすのは はずかしかったから



【2】「泣いた赤鬼」の だい2の ばめんを よんで
もんだいに こたえましょう。

問1 立てふだを 読んだ 木こりは、なにを ふしぎに
おもったのですか。ただししものを つぎの中から
すべて えらび ○でかこみましょう。

あ：だれが 立てふだを たてたのだろう。

い：おにの 家は どこだろう。

う：やさしい おになんて ほんとうだろうか。

え：どうして 立てふだなんか たてたのだろう。

問2 木こりたちは「これは気をつけなくてはならない」
「あぶない、あぶない」といっていますが、それはなぜ
ですか。「～から」と つながるように、お話の中の
ことばを つかって こたえましょう。



問3 「おい、木こりさん。」と 赤おには 木こりに よびかけましたが、それはなぜですか。つぎの中から ただしいものを えらび ○でかこみましょう。

あ：木こりたちを 食べようとした

い：木こりたちに もんくを いおうとした

う：木こりたちの ごかいを とうとうとした

え：木こりたちを おどろかそうとした

【3】「泣いた赤鬼」の だい3の ばめんを よんで もんだいに こたえましょう。

問1 赤おにが 木こりを おいかけましたが、木こりたちは どうになりましたか。お話の中のことばを つかって 15～20もじて こたえましょう。

問2 赤おにが 立てふだを 引きぬいたのは なぜですか。 つぎの中から ただしいものを えらび ○でかこみ ましょう。

あ：もっときれいに つくりなおすため

い：やくに たたないと おもったから

う：ばかにされて はずかしかったから

え：もう やくめが おわったから



問3 立てふだを こわしているとき、やってきたのは だれ
ですか。お話の中から ぬき出して こたえましょう。

問4 青おには どこに すんでいますか。お話の中から
ぬき出して 7もじで こたえましょう。



「泣いた赤鬼」

無料テスト対策練習問題プリント①（解答）

【1】

問1 大きな赤おに

問2 (れい)

- ・目玉がきよろきよろしている
- ・頭には角かと思われるものがついている

問3 (れい)

- ・やさしい (やさしいおに)
- ・一度も人をいじめたことはない

問4 あ

【かいせつ】あてはまらないものを えらぶので ちゅうい
しよう。「にんげんと いっしょに すみたい」とは、
お話の中には かかれていないよ。



問5 う

【かいせつ】アの「おいしい おかしを たべてほしい」という きもちも あると かんがえられるけれど、いちばん ただしいのは、「じぶんは やさしい」ことを つたえて、にんげんに あそびに きてほしかったから だね。

【2】

問1 ウ・エ

【かいせつ】「おにが、立てふだ立てている。」と 木こりが いっているので、だれが 立てふだを たてたのかは わかっているね。

立てふだは おにの家の前に あったので、おにの 家が どこかも わかっているね。木こりは、「やさしいなんて ほんとうかな?」「どうして こんなふうに 立てふだを たてたのかな?」と ふしぎに おもったんだね。

問2 おにが、だまして木こりらを食おうというつもりかもしれない(から)

問3 う



【3】

問1 いちもくさんににげて、見えなくなった

問2 イ

【かいせつ】「こんなもの、立てておいてもちっともやくに立ちやしない。」という ことばから わかるね。

問3 青おに

問4 遠い遠い山の方

